

## 第8章 文化財保護

第1節 文化財の指定と調査・保護

第2節 東北歴史博物館

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所



# 第1節 文化財の指定と調査・保護

## 1 指定文化財

県内の国及び県指定等の文化財は、次のとおりである。

第8-1表 新指定等文化財

区分	名称	所在地	所有者又は代表者	指定等年月日
有形文化財(建造物)	陽徳院霊屋	松島町松島	陽徳院	H24.7.9
有形文化財(歴史資料)	仙台藩天文学器機	仙台市青葉区 仙台市天文台	仙台市	H24.9.6
県指定文化財(考古資料)	皮袋形土器 /上ノ原遺跡出土	仙台市太白区 秋保町湯元	仙台市	H24.5.1
県指定文化財(考古資料)	土偶/蔵王町鍛冶沢 遺跡出土	仙台市青葉区 川内	仙台市	H24.5.1
県指定文化財(考古資料)	野川遺跡出土品	仙台市宮城野 区高砂	仙台市	H24.5.1
登録有形文化財(建造物)	旧相川診療所	石巻市北上町 十三浜	個人	H24.8.13
登録有形文化財(建造物)	デフォレスト館	仙台市青葉区 土樋	東北学院	H25.3.29

第8-2表 文化財指定等件数(平成24年度末)

区分	種別	国指定	県指定	計	
有形文化財	建造物	20(3)	36	56	
	美術	絵画	2	14	16
		彫刻	8	27	35
	工芸品	工芸品	11	22	33
		書跡・典籍	5(2)	20	25
		古文書・古碑	1		1
		考古資料	8	9	17
	歴史資料	3(1)	12	15	
無形文化財	工芸技術	1	2	3	
	その他		1	1	
民俗文化財	有形民俗文化財	1	4	5	
	無形民俗文化財	風俗慣習	4	9	13
		民俗芸能	3	33	36
	風俗慣習・民俗芸能		2	2	
記念物	史跡	34(1)	15	49	
	史跡・名勝	1		1	
	名勝	4(1)	2	6	
	天然記念物	28(1)	31	59	
合計		134(9)	239	373	
・選定文化財(国選定) (県選定)					
保存技術	選定保存技術	1		1	
・記録作成等の措置を講ずべき文化財(国選択) (県選択)					
無形民俗文化財	風俗慣習	4		4	
	民俗芸能	4		4	
・登録文化財(国登録)					
有形文化財	建造物	84			
	美術工芸品	1			

注1: 国指定の有形文化財(重要文化財)の中で特に価値の高いものを国宝、国指定の記念物(史跡・名勝・天然記念物)の中で特に重要なものを特別史跡・特別名勝・特別記念物に指定している。

注2: ( )内は、国宝・特別史跡・特別天然記念物の件数を内数で示している。

## 2 文化財の調査・保護

### (1) 埋蔵文化財の保護及び発掘調査等

#### ア 保護体制の整備

県の埋蔵文化財保護体制を充実させるため、以下の会議により調整を図った。

(ア) 東日本大震災に伴う埋蔵文化財保護に関する会議

○文化庁主催

○平成24年4月20日・5月22日・7月24日・8月27日

11月1日・平成25年1月16・17日・3月21日(計7回)

○場 所 東京都・宮城県・岩手県・福島県

○参加者 文化庁・宮城復興局・岩手復興局・福島復興局

宮城県・福島県・岩手県・仙台市

兵庫県・神戸市・奈良文化財研究所

(イ) 市町村文化財担当者会議

○平成24年7月25日

○場 所 東北歴史博物館

○参加者 35市町村文化財担当者

(ウ) 復興事業に伴う発掘調査にかかる連絡調整会議

○平成24年6月20日・12月19日・平成25年3月19日

○場 所 東北歴史博物館

○参加者 35市町村文化財担当者・復興事業担当者

文化庁・宮城復興局

#### イ 文化財保護管理指導事業

文化財保護地区指導員を県下市町村に各1人(仙台市4人、大崎市7人、加美町3人、栗原市10人、登米市9人、気仙沼市3人、石巻市7人、南三陸町2人)委嘱し、国指定の重要文化財(建造物)、史跡、名勝、天然記念物及び主たる埋蔵文化財包蔵地についてパトロールを実施したほか、文化財保護地区指導員ほかを対象とした以下の会議及び研修会を開催した。この事業は昭和49年度から国庫補助事業として実施しているものである。

(ア) 文化財保護地区指導員会議

○平成24年4月25日

○場 所 東北歴史博物館

○参加者 各市町村担当者及び文化財保護地区指導員

(イ) 市町村文化財担当者・文化財保護地区指導員研修講座

○月 日 平成24年10月24日

○会 場 東北歴史博物館・特別史跡多賀城跡

○研修内容 「復興事業に伴う発掘調査について」

講師 多賀城跡調査研究所 吉野武

東北歴史博物館 柳澤和明

特別史跡多賀城跡政庁跡発掘調査見学

○参加者 各市町村担当者、文化財保護地区指導員、文化財保護委員

#### ウ 基礎資料の整備

埋蔵文化財関係の基礎資料を整備し、その活用を図るため、遺跡台帳の整備充実に努めた。

#### エ 発掘調査

(ア) 平成24年度:埋蔵文化財発掘届等の件数

(第8-3表参照)

○調査のための発掘届(法92条第1項) 7件

○土木工事に伴う届(法93条第1項) 1,212件

○土木工事に伴う通知(法94条第1項) 311件

○遺跡発見の届(法96条第1項) 0件

○遺跡発見の通知(法97条第1項) 48件

○教育委員会の発掘調査(法99条第1項) 509件

合計 2,087件

(イ) 国庫補助事業による詳細分布調査(県教委が主体もし

- くは担当した調査) (第8-4表参照)  
 (ウ) 受託事業による調査 (第8-4表参照)  
 (エ) 執行委任事業による調査 (第8-4表参照)  
 (オ) その他の調査 (第8-4表参照)

第8-3表 埋蔵文化財発掘届等件数

No.	市町村名	92条	93条	94条	96条	97条	99条	計
1	仙台市	6	479	44		3	98	630
2	白石市		18	1		4	8	31
3	角田市		5	4			7	16
4	七ヶ宿町							
5	蔵王町		7	2			7	16
6	大河原町			3			2	5
7	村田町		2	3				5
8	柴田町		4	10			5	19
9	川崎町							
10	丸森町		6	5			3	14
11	塩竈市		5	1		3	2	11
12	名取市		64	5			35	104
13	亘理町		40	1		12	24	77
14	山元町		13	5		3	20	41
15	岩沼市	1	14	6		10	11	42
16	松島町		21	12			2	35
17	多賀城市		136	29			46	211
18	七ヶ浜町		2	1			2	5
19	利府町		18	3			6	27
20	大和町		17	4			7	28
21	大郷町			1				1
22	富谷町		3	1		4		8
23	大衡村		2	1			2	5
24	大崎市		67	52			58	177
25	加美町		6	10			11	27
26	色麻町		2	1				3
27	涌谷町		3	1			3	7
28	美里町		14	6			6	26
29	栗原市		72	56		1	42	171
30	登米市		13	15		2	2	32
31	石巻市		62	12			7	81
32	東松島市		37	6		4	24	71
33	女川町		4			1	2	7
34	気仙沼市		67	9		1	59	136
35	南三陸町		9	1			8	18
	合計	7	1,212	311		48	509	2,087

第8-4表

平成24年度発掘調査遺跡一覧

受託契約による調査

No.	事業名	事業主	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	主な発見遺構
1	三陸沿岸道路建設(復興) (本線部多賀前地区)	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所	山王遺跡	多賀城市	確認調査 本発掘調査	1,400 4,660	4月23日～12月11日	調査担当 奈良・平安時代: 道路跡, 掘立柱建物跡, 住居跡, 墓棺墓など, 土師器, 須恵器, 木製品など
2	三陸沿岸道路建設(復興) (多賀城1C八幡地区)	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所	山王遺跡 市川橋遺跡	多賀城市	確認調査 本発掘調査	9,200	4月4日～3月29日	調査担当 古墳時代中期: 住居跡, 区画施設跡など, 土師器, 羽口, 石製模造品など 古墳時代後期: 住居跡, 土坑, 河川跡など, 土師器, 須恵器, 骨角製品など 奈良・平安時代: 道路跡, 掘立柱建物跡, 住居跡, 井戸跡など, 土師器, 須恵器, 木製品など
3	三陸沿岸道路建設(復興) (歌津1C以北)	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所	石川原遺跡 寺沢遺跡	気仙沼市	確認調査 本発掘調査	180 195	9月10日～14日	調査担当 縄文時代: ビット, 縄文土器
4	常磐自動車道建設(復興)	東日本高速道路株式会社	涌沢遺跡 上宮前北遺跡 南山神B遺跡 新田B遺跡 影倉E遺跡 影倉D遺跡 荷駄馬遺跡 上小山遺跡	山元町	確認調査 本発掘調査	9,900 3,300 1,300 700 700 1,200 240 500	4月16日～12月19日	調査担当 縄文時代: 遺物包含層, 縄文土器, 石器など 奈良・平安時代: 住居跡, 掘立柱建物跡, 製鉄遺構など, 土師器, 須恵器, 羽口, 鉄滓, 八稜鏡など 中近世: 掘立柱建物跡など, 中世陶器など
5	国道4号築館バイパス建設	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所	御駒堂遺跡	栗原市	確認調査 本発掘調査	470	9月4日～9月14日	調査担当 奈良時代: 住居跡, 土師器, 須恵器など

執行委任による調査

No.	事業名	事業主	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	主な発見遺構
1	大内自歩道改良工事	宮城県 (大河原土木事務所)	卯月沢遺跡	丸森町	本発掘調査	730	4月9日～6月13日	調査担当 古代の住居跡, 溝跡, 土坑など。土師器, 須恵器など。
2	県営ほ場整備事業 田尻西部地区	宮城県 (北部地方振興事務所)	北小松遺跡 団子山西遺跡	大崎市	確認調査 本発掘調査	2,080 7,200	5月23日～12月7日	調査担当 古代: 住居跡, 掘立柱建物跡, 溝跡, 土坑, 河川跡など, 土師器, 須恵器など

復興交付金による調査

No.	事業名	事業主	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	主な発見遺構
1	防災集団移転促進事業 (復興)	南三陸町	松崎館跡	南三陸町	試掘	1,150	4月25日～5月8日	調査担当 遺構・遺物なし
2	防災集団移転促進事業 (復興)	南三陸町	若宮遺跡	南三陸町	試掘	470	5月21日～5月24日	調査担当 遺構・遺物なし
3	防災集団移転促進事業 (復興)	石巻市	中沢遺跡	石巻市	試掘	1,050	6月25日～7月4日	調査担当 縄文時代: 遺物包含層, ビットなど, 縄文土器, 石器など
4	災害公営住宅事業(復興)	塩竈市	桂島貝塚	塩竈市	試掘	190	6月25日～7月11日	調査担当 縄文: 遺物包含層, 縄文土器, 石器など
5	防災集団移転促進事業 (復興)	石巻市	羽黒下遺跡	石巻市	試掘	1,000	7月9日～7月20日	調査担当 縄文時代: 遺物包含層, ビットなど, 縄文土器, 石器など
6	防災集団移転促進事業 (復興)	女川町	野々浜遺跡 野々浜B遺跡	女川町	試掘	30 270	8月21日～8月29日	調査担当 遺構なし, 縄文土器
7	小規模住宅事業(復興)	塩竈市	朴島宅地遺跡	塩竈市	試掘	146	9月24日～10月11日	調査担当 平安時代: 遺物包含層, 貝層, 土師器, 須恵器, 製塩土器, 自然遺物など
8	防災集団移転促進事業 (復興)	石巻市	青島館跡 月浜古墳群	石巻市	試掘	530	12月3日～12月14日	調査担当 遺構なし
9	防災集団移転促進事業 (復興)	石巻市	立浜貝塚	石巻市	試掘	134	1月15日～1月24日	調査担当 縄文: 遺物包含層, 縄文土器
10	防災集団移転促進事業 (復興)	南三陸町	津の宮遺跡	南三陸町	試掘	87	2月4日～2月7日	調査担当 遺構・遺物なし
11	土地区画整理事業(復興)	石巻市	葦塚貝塚	石巻市	試掘	6,366	2月4日～3月21日	調査担当 近世: 貝層
12	土地区画整理事業(復興)	女川町	内山遺跡	女川町	試掘	140	3月7日～3月14日	調査担当 遺構・遺物なし

その他の調査（市町村協力）

No.	事業名	事業主	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
1	工場建設（復興）	中小企業	沼崎山遺跡	登米市	本発掘調査	1,020	4月11日～4月26日	縄文時代：遺物包含層、縄文土器、石器など 調査協力 平安時代：住居跡、掘立柱建物跡など、土師器、須恵器など
2	常磐自動車道建設（復興）	東日本高速道路株式会社	谷原遺跡	山元町	本発掘調査	9,000	4月11日～4月13日	縄文時代：住居跡、遺物包含層など、縄文土器など 調査協力 古代：住居跡、掘立柱建物跡など、土師器、須恵器など 中世：掘立柱建物跡など、中世陶器など
3	個人住宅建設に伴う樹木伐採作業道建設（復興）	個人	小森館跡	南三陸町	確認調査	924	4月17日・20日	調査協力 遺構・遺物なし
4	事務所建設（復興）	中小企業	堀の内遺跡	亶理町	確認調査	900	5月7日～5月11日	調査協力 中近世：土坑、溝など
5	ほ場整備事業	北部地方振興事務所	権現山遺跡 三輪田遺跡	大崎市	確認調査 本発掘調査	5,146	5月7日～3月19日	調査協力 古代：掘立柱建物跡、材木堀跡、溝跡など、土師器、須恵器、木簡など
6	個人住宅新築	個人	西館館跡	柴田町	確認調査	18	5月30日	調査協力 遺構・遺物なし
7	個人住宅新築（復興）	個人	田柄貝塚	気仙沼市	確認調査	100	6月7日	調査協力 遺構・遺物なし
8	個人住宅新築（復興）	個人	高谷遺跡	気仙沼市	確認調査 本発掘調査	235	6月8日～6月12日	調査協力 縄文時代：土坑、縄文土器など
9	個人住宅新築（復興）	個人	南最知貝塚	気仙沼市	確認調査	198	6月13日～6月18日	調査協力 縄文時代の住居跡、古代の住居跡、中世の溝跡など、縄文土器、土師器など
10	土地区画整理（復興）	七ヶ浜町	長須賀遺跡	七ヶ浜町	確認調査	1,000	6月26日～8月1日	調査協力 古代：製塩炉、遺物包含層など、土師器、須恵器、自然遺物（貝）など
11	防災集団移転促進事業（復興）	気仙沼市	波怒棄館遺跡	気仙沼市	確認調査	2,964	7月17日～7月26日	調査協力 縄文時代：遺物包含層、ピットなど、縄文土器、石器など
12	仮設庁舎建設	防衛庁東北防衛局	大沼端遺跡	柴田町	確認調査	72	7月18日	調査協力 遺構・遺物なし
13	個人住宅新築（復興）	気仙沼市	古館貝塚	気仙沼市	確認調査 本発掘調査	40	7月30日～7月31日	調査協力 縄文時代：土坑、縄文土器など
14	堤防復旧（復興）	七ヶ浜町	高山横穴墓群	七ヶ浜町	確認調査	50	8月2日～8月3日	調査協力 古墳時代：横穴墓、須恵器など
15	事務所建設（復興）	大企業（小松リフト）	高谷遺跡	気仙沼市	確認調査	260	8月2日～8月3日	調査協力 縄文時代：遺物包含層、縄文土器、石器など
16	個人住宅新築（復興）	個人	南最知貝塚	気仙沼市	確認調査	110	8月6日～8月10日	調査協力 古代：住居跡、土師器など
17	携帯電話基地局建設	ドコモ	平貝遺跡	気仙沼市	確認調査 本発掘調査	180	8月6日～8月21日	調査協力 縄文時代：建物跡、土坑、縄文土器、石器など
18	防災集団移転促進事業（復興）	気仙沼市	塚館跡	気仙沼市	確認調査	240	8月7日～8月10日	調査協力 遺構・遺物なし
19	町道改良	大河原町	台の山遺跡	大河原町	確認調査	64	8月9日	調査協力 遺構・遺物なし
20	法面養生	瑞巖寺	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	10	8月20日・21日	調査協力 中近世：石窟
21	防災集団移転促進事業（復興）	気仙沼市	南最知城跡	気仙沼市	確認調査	205	8月20日～8月23日	調査協力 遺構・遺物なし
22	コミュニティセンター建設	前浜地域振興会	前浜貝塚	気仙沼市	確認調査	580	8月23日～8月28日	調査協力 遺構・遺物なし
23	個人住宅新築	個人	新畑中遺跡	柴田町	確認調査	45	9月11日	調査協力 遺構・遺物なし
24	個人住宅新築（復興）	個人	星谷遺跡	気仙沼市	確認調査 本発掘調査	40	9月19日～10月2日	調査協力 縄文時代：住居跡、縄文土器など
25	個人住宅新築（復興）	個人	長崎城跡	気仙沼市	確認調査	66	10月4日	調査協力 遺構・遺物なし
26	事務所建設（復興）	中小企業	刈米館跡	気仙沼市	確認調査	46	10月9日	調査協力 遺構・遺物なし
27	個人住宅新築（復興）	個人	猿喰東館跡	気仙沼市	確認調査	184	10月10日	調査協力 遺構・遺物なし
28	個人住宅新築	個人	亀岡遺跡	大衡村	確認調査	34	10月11日	調査協力 遺構・遺物なし
29	個人住宅新築（復興）	個人	相馬館跡	気仙沼市	確認調査	50	10月11日～10月12日	調査協力 遺構・遺物なし
30	個人住宅新築（復興）	個人	磯草貝塚	気仙沼市	確認調査 本発掘調査	60	10月16日～10月23日	調査協力 縄文時代：遺物包含層、縄文土器、石器など
31	保育園解体	大河原町	中屋敷前遺跡	大河原町	確認調査	23	10月17日	調査協力 古代：溝跡
32	園路整備	柴田町	船岡館跡	柴田町	確認調査	20	11月7日	調査協力 遺構・遺物なし
33	村道改良	大衡村	針遺跡	大衡村	確認調査	40	11月14日	調査協力 遺構・遺物なし
34	防災集団移転促進事業（復興）	東松島市	西権助遺跡 横山貝塚	東松島市	確認調査	262	11月19日～11月28日	調査協力 古代：土師器など
35	個人住宅新築	個人	松崎貝塚	柴田町	確認調査	30	12月6日	調査協力 遺構・遺物なし
36	メガソーラー設置事業	企業	下萩沢遺跡	栗原市	確認調査	1,846	1月17日～24日	調査協力 古代：住居跡、土師器、須恵器など
37	個人住宅新築（復興）	個人	若宮遺跡	南三陸町	確認調査 本発掘調査	950	2月20日～2月26日	調査協力 縄文時代：ピット、縄文土器
38	防災集団移転促進事業（復興）	気仙沼市	波怒棄館遺跡	気仙沼市	本発掘調査	10,000	10月22日～3月19日	調査協力 縄文時代：遺物包含層、炭層、ピットなど、縄文土器、石器、骨角製品、自然遺物（貝・鹿角など）など
39	防災集団移転促進事業（復興）	石巻市	中沢遺跡	石巻市	本発掘調査	20,000	10月29日～3月19日	調査協力 縄文時代：遺物包含層、住居跡など、縄文土器、石器、石製品、土製品など 古代：住居跡など、土師器、須恵器など
40	防災集団移転促進事業（復興）	南三陸町	新井田館跡	南三陸町	確認調査 本発掘調査	72,000	3月7日～3月19日	調査協力 中世：掘立柱建物跡、堀跡、土壘など

オ 報告書の刊行

刊行年月日	報告書名
2013 (平成25年3月)	宮城県文化財調査報告書第232集「卯月沢遺跡」

(2) 文化財の保護

ア 史跡名勝天然記念物に対する現状変更件数については、次表のとおりである。(第8-5表参照)

イ 銃砲刀剣類の審査と登録

登録審査会を6回開催し、美術的価値のある銃砲刀剣類の登録を行った。(第8-6表参照)

ウ 第54回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

平成24年10月28日(日)に山形県天童市を会場に開催され、本県から1団体(大曲浜獅子舞(東松島市))が出演した。

第8-5表 史跡・名勝等の現状変更件数

種 別	名 称	年 度									
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	
特 別 名 勝	松 島	118	88	88	139	135	198	155	235	369	
特 別 史 跡	多賀城跡附寺跡	9	9	10	18	11	8	13	6	4	
そ の 他		35	42	18	38	31	30	22	41	46	
計		162	139	116	195	177	236	193	281	419	

第8-6表 銃砲刀剣類の登録件数

種 類	た ち	刀	わきざし	短 刀	剣	や り	なぎなた	その他	火なわ式銃砲	火打石式銃砲	ピン打式銃砲	計
件 数	6	74	97	24	1	12	4	1	15	0	0	234

3 文化財保護事業に対する助成等(震災関係を除く。)

(1) 国庫補助事業

本年度国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8-7表 平成24年度国庫補助事業 (単位:千円)

事 業 名	事 業 者	総事業費	内 訳			
			国庫補助金	県補助金	市町村費	所有者負担金等
瑞巖寺本堂ほか7棟 建造物保存修理	瑞巖寺	200,000	120,000	20,000	5,000	55,000
鹽竈神社 建造物保存修理	鹽竈神社	44,840	24,662	5,044	2,522	12,612
鹽竈神社 建造物防災施設	鹽竈神社	5,928	3,260	-	-	2,668
大崎八幡宮 建造物防災施設	大崎八幡宮	5,505	2,752	-	-	2,753
仙台藩花山村寒湯番所跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	栗原市	2,143	1,470	126	547	-
山王団遺跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	栗原市	30,000	14,720	3,000	12,280	-
市内遺跡発掘調査等	仙台市	15,538	7,769	-	7,769	-
市内遺跡発掘調査等	多賀城市	22,326	11,163	-	11,163	-
市内遺跡発掘調査等	大崎市	7,000	3,500	-	3,500	-
市内遺跡発掘調査等	東松島市	4,000	2,000	-	2,000	-
市内遺跡発掘調査等	栗原市	2,710	1,355	-	1,355	-
市内遺跡発掘調査等	角田市	2,000	1,000	-	1,000	-
市内遺跡発掘調査等	白石市	2,000	1,000	-	1,000	-
市内遺跡発掘調査等	名取市	1,970	985	-	985	-
市内遺跡発掘調査等	気仙沼市	1,260	630	-	630	-
町内遺跡発掘調査等	亘理町	1,600	800	-	800	-
町内遺跡発掘調査等	加美町	2,000	1,000	-	1,000	-
町内遺跡発掘調査等	七ヶ浜町	2,600	1,300	-	1,300	-
市内遺跡埋蔵文化財公開活用	多賀城市	1,954	977	-	977	-
市内遺跡埋蔵文化財公開活用	仙台市	7,252	3,626	-	3,626	-
市内遺跡埋蔵文化財公開活用	東松島市	1,954	977	-	977	-
多賀城跡附寺跡指定文化財管理(国有文化財管理)	多賀城市	208	166	-	166	-
第59回日本伝統工芸展仙台展	日本伝統工芸品台展実行委員会	3,148	1,496	-	-	1,652
選定保存技術(石盤甕)伝承	佐々木信平	1,127	1,106	-	-	21
多賀城跡附寺跡買上げ(直接買上げ)	多賀城市	250,000	195,084	8,000	46,916	-
伊治城跡買上げ(直接買上げ)	栗原市	46,500	36,025	-	1,175	-

仙台郡山官衙遺跡群買上げ（直接買上げ）	仙台市	80,722	63,668	-	17,054	-
陸奥国分寺跡群買上げ（先行取得償還）	仙台市	825,668	660,531	-	165,137	-
仙台郡山官衙遺跡群買上げ（先行取得償還）	仙台市	35,332	28,264	-	7,068	-
特別天然記念物カモシカ食害対策	宮城県	11,604	7,736	3,868	-	-
県内遺跡発掘調査等	宮城県	13,584	6,790	6,794	-	-
指定文化財管理	宮城県	4,479	2,239	2,240	-	-

(2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

南奥羽山系カモシカ保護地域におけるカモシカの生息動向・生息環境・食害発生状況などのカモシカ保護対策に関する調査を実施した。

(3) 県費補助事業

本年度県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8-8表

平成24年度県費補助事業

(単位：千円)

補助事業名	補助金交付先	補助金額	備考
無形文化財・無形民俗文化財等保存事業補助	無形文化財保持者及び保持団体 新田柳心館 他 2個人	420	補助率 定額 (140千円)
	無形民俗文化財保存団体 湯元田植踊保存会 他 4 8 団体	1,470	補助率 定額 (30千円)

4 災害復旧事業に対する助成等（震災関係）

(1) 国庫補助事業

国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8-9表

平成24年度災害復旧補助事業

(単位：千円)

事業名	事業者	総事業費	内 訳				
			国庫補助金	県補助金	震災復興基金	市町村費	所有者負担金等
松本家住宅 建造物保存修理	個人	4,500	3,825	168	0	254	253
東照宮附石灯籠 建造物環境保全	東照宮	17,000	14,450	637	398	957	558
木造不動明王坐像 美術工芸品保存修理	大徳寺	10,688	9,084	401	150	601	452
木造薬師如来坐像他 美術工芸品保存修理	雙林寺	3,524	2,819	176	88	265	176
木造釈迦如来立像 美術工芸品保存修理	龍寶寺	14,538	7,269	1,817	2,229	265	176
大仰寺 史跡等登録記念物歴史の道保存整備	大仰寺	9,840	6,888	738	107	1,107	1,000
瑞巖寺庫裡及び廊下他 保存修理	瑞巖寺	25,099	20,820	1,568	588	1,355	768
東照宮本殿他 38 棟 建造物修理	東照宮	25,620	20,496	1,145	715	1,989	1,275
大崎八幡宮 建造物修理	大崎八幡宮	9,636	6,745	703	440	1,094	654
洞口家住宅主屋他 3 棟 建造物保存修理	個人	11,000	9,350	410	19	620	601
旧中澤家住宅 建造物保存修理	名取市	6,780	4,746	405	-	1,629	-
我妻家住宅主屋ほか 3 棟 建造物保存修理	個人	39,950	30,631	1,498	0	753	753
旧登米高等尋常小学校校舎 建造物修理	登米市	30,200	25,670	906	-	3,624	-
多賀城跡附寺跡 史跡等登録記念物歴史の道	多賀城市	5,355	3,528	321	-	1,506	-
山畑横穴群 史跡等登録記念物歴史の道	大崎市	171,350	119,945	8,000	-	43,405	-
旧有備館及庭園 史跡等登録記念物歴史の道	大崎市	77,150	54,005	4,629	-	18,516	-
大木困遺跡 史跡等登録記念物歴史の道	七ヶ浜町	4,410	2,801	262	-	1,347	-
斎藤氏庭園 史跡等登録記念物歴史の道	石巻市	137,200	96,040	8,000	-	33,160	-
仙台北城跡 史跡等登録記念物歴史の道	仙台市	664,600	465,220	-	-	199,380	-
雄勝法印神楽 民俗文化財保持	雄勝法印神楽保存会	8,000	4,000	1,000	375	150	2,475



## (2) 県費補助事業

県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8-10表

平成24年度災害復旧補助事業

(単位：千円)

事業名	事業者	総事業費	県補助金	震災復興基金	市町村費	所有者負担金等
旧仙台城板倉 保存修理	個人	1,643	821	103	411	308
亀岡八幡宮石鳥居 保存修理	亀岡八幡宮	578	289	0	144	145
瑞巖寺総門 保存修理	瑞巖寺	2,047	1,023	128	512	384
祇劫寺本堂 保存修理	祇劫寺	7,364	3,682	460	1,841	1,381
妙見宮 保存修理	神明社	184	92	11	46	35
落合観音堂 保存修理	落合観音堂奉賛会	420	210	29	105	76
木造聖観音立像 保存修理	常春寺	2,111	1,055	132	528	396
木造阿弥陀如来坐像 保存修理	安国寺	1,801	900	112	450	339
木造男神像 防災設備修理	賀茂小祝神社	29	14	2	7	6
志津川太郎坊の杉 保護増殖	南三陸町	1,218	418	-	400	400
愛宕神社本殿拝殿附棟札 保存修理	愛宕神社	22,664	-	1,503	11,332	1,381
諏訪神社社殿 保存修理	諏訪神社	1,338	-	167	669	502
刈田嶺神社拝殿・随神門等 保存修理	刈田嶺神社	1,113	-	55	556	502
耕龍寺山門 保存修理	愛宕神社	1,550	-	292	775	483
竹駒神社楼門 保存修理	竹駒神社	6,037	-	754	3,018	2,265
三聖堂・水主町民家 保存修理	瑞巖寺	1,986	-	717	2,869	2,152
陽徳院山門 保存修理	陽徳院	1,956	-	244	978	734
鼻節神社 保存修理	鼻節神社	2,346	-	293	1,173	880
瑞川寺山門 保存修理	瑞川寺	6,351	-	796	3,180	2,385
大宮寺山門 保存修理	大宮寺山門管理	3,400	-	425	1,700	1,275
妙見宮長床 保存修理	神明社	596	-	74	298	224
西光寺薬医門 保存修理	西光寺	367	-	46	183	138
佐々木家住宅 保存修理	個人	578	-	72	289	217
杉薬師瑠璃殿 保存修理	双林寺	169	-	20	79	60
八幡神社本殿・拝殿・神輿 保存修理	瀬峰八幡神社	462	-	57	231	174
妙教寺祖師堂 保存修理	妙教寺	459	-	57	229	173
養雲寺山門 保存修理	養雲寺	900	-	67	450	383
八幡神社 保存修理	八幡神社	24,950	-	1,858	12,475	10,617
木造毘沙門天立像 保存修理	大梅寺	3,986	-	996	1,993	997
木造阿弥陀三尊像 保存修理	園得院	1,050	-	262	525	263
木造十一面千手観音坐像 保存修理	自照院	339	-	44	169	
湊浜薬師薬師坐像 保存修理	湊浜薬師教	6,235	-	933	3,117	2,185
建治三年銘古碑 保存修理	個人	1,230	-	153	615	462
木造不動明王像 保存修理	滝不動神社	2,030	-	152	1,015	863
千手観世音菩薩坐像 保存修理	長承寺	1,400	-	105	700	595
上沼八幡神社随神像 保存修理	八幡神社	1,380	-	137	690	553
地藏菩薩立像・不動明王坐像 保存修理	光明寺	2,442	-	296	1,221	925
木造地藏菩薩坐像 保存修理	地福寺	816	-	97	409	311
多福院板碑群 保存修理	多福院	320	-	32	160	128
宝籤印塔 保存修理	牧山滯羊崎神社	771	-	96	385	290
片倉家御廟所 保存修理	個人	270	-	67	135	68
石川家廟所 保存修理	幡守会	588	-	73	294	221
紫雲山万日堂跡 保存修理	安養寺	130	-	16	65	49
湖水城趾と西都新左衛門の碑 保存修理	機織沼振興会	560	-	42	280	238
三聖堂・水主町民家 保存修理	瑞巖寺	1,986	-	717	2,869	2,152
陽徳院山門 保存修理	陽徳院	1,956	-	244	978	734
鼻節神社 保存修理	鼻節神社	2,346	-	293	1,173	880
瑞川寺山門 保存修理	瑞川寺	6,351	-	796	3,180	2,385
大宮寺山門 保存修理	大宮寺山門管理	3,400	-	425	1,700	1,275
妙見宮長床 保存修理	神明社	596	-	74	298	224
西光寺薬医門 保存修理	西光寺	367	-	46	183	138
佐々木家住宅 保存修理	個人	578	-	72	289	217
杉薬師瑠璃殿 保存修理	双林寺	169	-	20	79	60

事業名	事業者	総事業費	県補助金	震災復興基金	市町村費	所有者負担金等
八幡神社本殿・拝殿・神輿 保存修理	瀬峰八幡神社	462	-	57	231	174
妙教寺祖師堂 保存修理	妙教寺	459	-	57	229	173
養雲寺山門 保存修理	養雲寺	900	-	67	450	383
八幡神社 保存修理	八幡神社	24,950	-	1,858	12,475	10,617
木造毘沙門天立像 保存修理	大梅寺	3,968	-	996	1,993	997
木造阿弥陀三尊像 保存修理	圓徳寺	1,060	-	262	525	263
木造十一面千手観音坐像 保存修理	自照院	339	-	44	169	126
湊浜薬師及び薬師坐像 保存修理	湊浜薬師教	6,235	-	923	3,117	2,185
建治三年銘古碑 保存修理	個人	1,230	-	153	615	462
木造不動明王像 保存修理	滝不動神社	2,030	-	152	1,015	863
千手観世音菩薩坐像 保存修理	長承寺	1,400	-	105	700	595
上沼八幡神社随神像 保存修理	八幡神社	1,380	-	137	690	553
地藏菩薩立像・不動明王坐像 保存修理	光明寺	2,442	-	296	1,221	925
木造地藏菩薩坐像 保存修理	地福院	816	-	97	408	311
多福院板碑群 保存修理	多福院	320	-	32	160	128
宝籤印塔 保存修理	牧山瀆羊崎神社	771	-	96	385	290
片倉家御廟所 保存整備	個人	270	-	67	135	68
石川家廟所 保存整備	幡守会	588	-	73	294	221
紫雲山万日堂跡 保存整備	安養寺	130	-	16	65	49
湖水城跡と西都新左衛門の碑 保存整備	機織沼振興会	560	-	42	280	238
伊達家累代の墓 保存整備	個人	1,580	-	118	790	672
松島せっこく 保存整備	瑞巖寺	426	-	106	213	107
榊流東根神楽	榊流神楽保存会	2,121	-	530	1,060	531
旧登米警察署 建造物修理	登米市	13,765	6,882	-	6,883	-
旧小関家住宅附表門・路地堀 建造物修理	白石市	1,470	735	-	735	-
旧上戸沢検断屋敷木村家住宅 建造物修理	白石市	704	350	-	354	-

## 5 その他

### (1) 宮城県地域文化遺産復興プロジェクト

東日本大震災により被災した無形の文化遺産等に対して、活動基盤の再構築を促し、文化遺産を活かして復興に資するとともに、その成果を多様な形で還元するため、記録作成、普及啓発、後継者育成等の事業を実施した。

事業期間：平成24年6月1日～平成25年3月31日

実施主体：宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会

事業予算：56,493,000円(平成24年度)

事業内容

事業1：地域の文化遺産記録作成、調査研究事業

①地域文化遺産記録作成事業

②地域の文化遺産調査事業

事業2：地域の文化遺産普及啓発事業

事業3：地域の文化遺産継承事業

①無形の文化遺産伝承活性化事業

②地域文化遺産復興基盤整備事業

③がんばれ東北「将棋文化を活用した地域コミュニティ再生」事業

事業4：地域の文化遺産情報発信事業

①文化遺産ガイドブック作成事業

②地域伝統文化パンフレット(石巻地区)作成事業

③調査成果普及啓発事業

### (2) 文化財レスキュー事業

東日本大震災により被災した文化財等(絵画、彫刻、古文書、考古資料など)を緊急に保全するとともに、貴重な文化財の廃棄・散逸を防止するため、平成23年4月に「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業(文化財レスキュー事

業)」(実施主体：東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会(事務局：東京文化財研究所))が立ち上げられ、行政機関や研究機関、学会などの連携・協力の下に、各地の多数の被災文化財等を救出して応急処置を施し、博物館などで一時保管が行なわれた。その後、10月には宮城県教育委員会、東北歴史博物館などが中心となって「宮城県被災文化財等保全連絡会議」を設置し、救援委員会とも連携・協力してレスキュー活動を進め、被災文化財の保護・保全に努めてきた。震災発生から2カ年が経過し、救援事業の件数が減少したこともあり、3月末日をもって救援委員会は解散となった。今後、宮城県内の文化財レスキュー事業は、保全連絡会議が主体で実施していくことになっている。

○文化財レスキュー事業実績(平成25年3月現在)

64箇所、約24,000件

○主なレスキュー資料

石巻文化センターの収蔵資料・毛利コレクション等

東松島市埋蔵文化財収蔵庫の資料等 数千点以上

石巻市唐桑漁村センター民俗資料・生物標本等 約400点

### (3) 文化財ドクター派遣事業

被災した建造物の状況調査や応急措置及び復旧に向けた技術的支援等を行うため、文化庁と財団法人日本建築学会が連携・協力し、現地に調査員(文化財ドクター)を派遣するもので、県では関係市町村と連絡調整を図り、この事業の下で被災建造物の復旧支援を行った。

○県教委経由で要請・対応した歴史的建造物

5件(未指定未登録 5)

#### (4) 被災ミュージアム再興事業

東日本大震災により被災した歴史博物館・美術館等が保有する、または寄託を受けた資料の修理、整理・データベース化、収蔵施設の整備や環境保全、展示公開等をおこない、博物館機能の再興を図るもの。文化庁の補助事業で、平成24年度から5ヶ年の計画で進められている。事業費の1/2が国庫補助金、残額は震災復興特別交付金でまかなわれる。本県で

は、文化庁の事業採択を受け、平成24年度から本事業に取り組んでいる。

事業期間 平成24年7月1日～平成28年  
事業予算 381,541,537円（平成24年度）

#### 事業概要

対象ミュージアム	事業内容	事業費
石巻文化センター	資料保存修復・再整理・仮保管	43,758,000
石ノ森漫画館	資料データベース化・館復興	10,141,100
サンファン館	資料修復	7,370,598
気仙沼市教育委員会	資料整理データベース化・収蔵環境整備	4,120,600
リアスアーク美術館	資料修復	5,600,000
志津川自然環境活用センター	データベース復旧・収蔵展示復旧	12,785,200
宮城県美術館	整理・収蔵庫整備・環境整備・ハイビジョンパス	21,785,200
仙台市博物館	修復・再整理・収蔵環境調査・展示	40,075,000
仙台市教育委員会	修復・収蔵庫修繕・活用	7,868,000
東北学院大学博物館	レスキュー展示	6,103,000
東北大学総合学術博物館	展示再興	19,580,000
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	修理	7,880,000
福島美術館	再配架	8,547,000
東北歴史博物館	修理・再整理・保全・保管・再配架・関連展示	75,439,006
多賀城市埋蔵文化財センター	修理	13,250,000
白石市博物館建設準備室	修理・データベース・保管・展示	16,763,548
奥松島縄文村歴史資料館	修復復元・データベース	12,889,310
村田町歴史みらい館	データベース	8,000,000
亘理町立郷土資料館	資料整理	15,938,000
岩沼市ふるさと資料室	修理・データベース・保管施設設置	21,600,000
涌谷町立史料館	資料保全・収蔵施設設置	14,767,600

## 第2節 東北歴史博物館

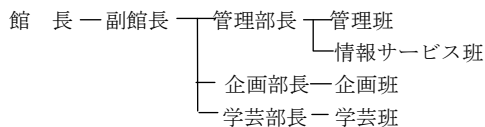
### 1 概要

東北歴史博物館は、宮城の地を拠点に東北全体の歴史及び文化を総合的にとらえ、その特色を世界に発信することを目的とした人文系博物館であり、誰もが気軽に学ぶことができる施設である。

企画展示、教育普及、調査研究及び歴史資料収集管理などの主要事業を積極的に行なった。

### 2 組織と予算

#### (1) 組織



### (2) 予算

(決算)

項目	金額(千円)
管理経費	223,576
企画展示費	19,801
教育普及費	1,166
調査研究費	985
資料管理費	4,277
合計	249,805

### 3 事業

#### (1) 企画展示事業

##### ア 常設展示

総合展示室において、約3万年前の後期旧石器時代から1965(昭和40)年頃までの東北地方全体の歴史及び文化について、庶民の視点を重視しながらそれぞれの時代を特色づけるテーマを取り上げた課題展示を行っている。重要文化財を含む実物資料約1400点の展示及び当時の様子を復元したジオラマ、イラストや地図・写真を使ったパネル、レーザーディスプレイ

ク等の映像装置、解説文パネルを適宜配置してわかりやすい展示を目指している。

テーマ展示室において、展示室1で「郷土玩具の世界」「楠本コレクション 縄文土器」「宮城の瓦」を、展示室2で「骨角器の世界」「杉山コレクション アイヌ民族資料・刀装具」を展示した。また、展示室3では「仙台の近世絵画—仙台四大画家を中心として—」をはじめ8回の展示替えを行なった。

#### イ 特別展示

- ・特別展 東日本大震災復興祈念「神々への祈り—神の若がりえりとこころの再生—」

会 期：平成24年4月28日～6月17日（45日間）

関連企画：

- 記念講演会①「伊勢の神宮—永遠への祈りと智恵—」  
講 師 神宮禰宜 神宮司庁広報室室長 河合 真如氏  
期 日 平成24年4月29日  
記念講演会②「出雲のこころ」  
講 師 出雲大社禰宜・総務部長 西村 健氏  
期 日 平成24年5月3日  
記念講演会③「鹽竈神社と御遷宮」  
講 師 鹽竈神社博物館学芸員 茂木 裕樹氏  
期 日 平成24年5月19日  
記念講演会④「賀茂神道とその美—平成27年、第34回式年遷宮を迎えて—」  
講 師 下鴨神社宮司 新木 直人氏  
期 日 平成24年6月3日
- 展示解説会 全8回  
観覧者数：6,430人

- ・特別展「家族でおでかけ—夏休みのおもいで—」  
会 期：平成24年7月7日～9月9日（56日間）  
関連企画：

- 記念講演会「東北の鉄道と家族旅行」  
講 師 鉄道博物館客員学芸員 佐藤 美知男氏  
期 日 平成24年7月29日
- 鉄道模型運転会【塩釜レールサークル】全10回
- ボンネットバス試乗会【日本昭和の車保存会】全3回
- 展示解説会 全5回  
観覧者数：8,973人

- ・特別展「みちのく鬼めぐり」  
会 期：平成24年10月6日～12月2日（50日間）  
関連企画：

- 記念講演会  
「東北の鬼—津軽・鬼神社の鬼をめぐって—」  
講 師 東北芸術工科大学大学院教授 内藤 正敏氏  
期 日 平成24年11月11日
- ONI84総選挙
- 絵本・書籍の公開
- 展示解説会 全9回  
観覧者数：6,708人

## (2) 教育普及事業

### ア こども歴史館の運営

利用者数 24,776人（小・中学校・高校の利用数 延べ250校）

体験企画（解説員主催）：

- 「盆棚のディスプレイ」
- 「お正月遊び2013お正月遊びスネークあ～この面白さへビー級！！」

「貝合わせしてみない貝？」

- イ 図書情報室の運営 利用者数 5,146人
- ウ 今野家住宅の運営 利用者数 26,891人
- エ 講座等の行事

行 事 名	回数	参加数 (人)	備 考
館長講座	15	3,947	テーマ「古代国家と蝦夷」「多賀城の歴史」
博物館講座	29	1,622	特別歴史講座、古文書、史料講読、民俗芸能、体験考古学講座、オープン講座等
体験教室	8	114	トンボ玉、勾玉作り、拓本等
多賀城跡巡り	12	130	毎月2回（5月～10月）
民話を聞く会	5	214	多賀城民話の会、利府民話の会、秋保語りの会
体験イベント	3	4,869	春・秋・冬の年3回開催

### オ 平成24年度文化庁ミュージアム活性化支援事業

「地域の民話伝承者ととともに民話を学ぶこどもたち」

総参加者数 632名

- ① 民話にふれよう  
期 日 平成24年10月7日  
話 者 多賀城民話の会会員  
利府民話の会会員
- ② 民話を学ぼう  
期 日 平成24年11月4日・11日・18日・25日  
講 師 利府民話の会会員
- ③ 民話について考えよう—講演会と民話を聞くひととき—  
期 日 平成25年1月12日  
内 容 発表会「こどもが語る民話にふれる」  
講演会「いま、民話を語り継ぐこと」  
映画上映会「うたうひと」

### カ 広報と刊行物

- 『東北歴史博物館 平成23年度年報』
- 『東北歴史博物館研究紀要14』
- 『催事カレンダー（4月～7月、8月～11月、12月～3月）』

### (3) 調査研究事業

東北地方の歴史・文化に関連する考古資料・民俗資料・文書資料・美術工芸資料及び建造物資料について調査研究を行い、その成果を研究紀要・展示解説書等の刊行物を通じて公表した。

#### ア 考古資料の調査研究

文化財保護課移管資料について、多賀城市山王遺跡出土土木製品 1,188点、同市市川橋遺跡出土土木製品 654点、計 1,842点のデータベースを整備した。

興野コレクションについて、栗原市嘉倉貝塚出土土偶 8点、登米市倉崎貝塚出土土偶 1点の写真撮影、分量等の基礎データ計測及び実測図を作成した。

東日本大震災による破損資料について、展示中に被災した埴輪を、専門業者に委託して修復を行った。収蔵庫で被災した縄文土器約 80点、土師器 25点、須恵器 15点、中世陶器 10点について、展示・公開が可能な状態に修復を行った。写真資料については、館蔵資料を中心にデジタルカメラによる撮影を行い、14カットを情報システムに登録した。

#### イ 民俗資料の調査研究

宮城県及び東北地方の民俗資料を調査し、展示に活動できるようにするとともに、新収蔵資料の整理研究を行い、公開することを目的としている。今年度も昨年に引き続き、長

年にわたり東北地方の民俗芸能を研究してきた千葉雄市氏の調査資料一式(約 7,000 点)の整理を行った。今年度は特に調査ファイルの精査を実施した。

東北地方信仰伝承の調査研究として、第二次「東北地方信仰伝承調査」を引き続き実施した。今年度も東日本大震災からの復旧・復興への対応に時間を割き、石巻市牡鹿、栗原市一迫町、角田市等で震災資料の保全活動への支援を行った。

南部神楽活性化事業として昨年度から引き続き文化庁の支援を受けて実施した。また、その調査内容をまとめ、『南部神楽に親しむ』と題した調査報告書を刊行した。

#### ウ 文書資料の調査研究

今年度は、昨年度以前および今年度中に収集したもののうち、新規収集文書、宮城県図書館移管文書の整理を行った。新規収集文書については、「渡部家資料」などの整理を行い、寄贈を受けた。県図書館移管文書のうち、昨年度中断していた「保呂羽村役場文書」のマイクロフィルム化を行った。マイクロフィルム資料のうち、我妻家文書(蔵王町)・門伝家文書(栗原市)・氏家家文書(栗原市)・尾形家文書(栗原市)・千葉家文書(栗原市)・伊藤家文書(岩沼市)のデータベース化を継続的に行った。

地震等の災害対策および被災資料の保存対策事業として、

石巻文化センター資料群の保存環境の整備、石巻市阿部家資料の修理を実施した。

また宮城県の地域信仰に関わる文化財活性化事業(平成22年度から文化庁の支援を得て開始)として、県内の信仰に関わる文化財の調査、普及啓発事業を行った。本年度は、仙台塩釜地区のうち、瑞巖寺(松島町)・東園寺(塩竈市)・満勝寺(仙台市)・保春院(仙台市)などの調査を行い、資料の写真撮影等を実施した。宮城県内の信仰関係文化財のうち、禅宗の高僧が残した墨蹟をテーマにした講演会「高僧の墨蹟一雲居と白隠一」(講師：芳澤勝弘 花園大学国際禅学研究所教授、10月20日)を行った。また、今回の調査で特に新出資料の多かった墨蹟類の中から、特に注目すべきものを選定し、「宮城の墨蹟Ⅰ」として掲載した。

#### エ 美術工芸資料の調査研究

館蔵資料の調査研究として、近世絵画のうち文人画、工芸資料のうち杉山コレクション刀装具について文献を中心とした調査研究を進め、その成果の一部をテーマ展示において公開した。

仏教文化及び美術に関する調査研究として、宮城県内、福島県内及び岩手県内の信仰拠点に伝わる資料の調査及びデータの整備を進めた。

東北の近世絵画に関する調査研究として、城下町を描いた絵図及び名所絵等について宮城県内を中心とした東北地方、

さらには関西地方に伝わる資料の調査を実施し、データの整理を進めた。その成果の一部をテーマ展示において公開した。

#### オ 建造物資料の調査研究

古建築の活用に関する調査研究及び管理運営調査として、福島県国見町の県指定重要建造物「旧佐藤家住宅」の修繕工事現場見学会をはじめ、陸前高田市気仙大工伝承館など各所の被害状況と復旧に向けた取組について現地調査を行った。また、気仙大工と地域性について震災の被害状況を確認するとともに震災を免れた建造物(民家・社寺等)の現地調査を行った。また、気仙大工の伝統的技法の伝承と復旧復興に向けた地域の取り組みについても調査を行った。

### (4) 資料管理事業

歴史資料・文書資料・民俗資料等を収集し保存及び管理を行い、展示・閲覧・貸出・調査研究などの活用に資する。

#### ア 実物資料

考古・民俗・文書・美術工芸・建築・歴史の各資料分野にわたって、約7万件を超える資料を収蔵している。

資料の館外貸出は34件819点であった。寄贈資料は、牛頭天王信仰関係資料 121点、唐箕 1点、トランク・着せ替え紙人形 33点、行李 1点、気仙沼市唐桑町大沢地区所在貝塚出土人骨 1点、カマ神 1点、蓄音機・壁掛電話機ほか 261点、書籍・人形・ソノシートほか112点、白黒テレビほか 18点、南山古梁ほか墨蹟、絵画・書跡 20点、火縄銃・文書類など 369点、尋常小学国語読本ほか2点計1041点であった。

#### イ 写真資料

収蔵実物資料を撮影したもの等を中心とした写真資料について、フィルムやプリントの形態で約69,000件を収蔵している。今年度の写真資料等の貸出及び再掲載申込は、89件268点であった。

#### ウ 図書資料

当館が所蔵している図書資料の総数は約100,000冊で、そのうち約8,000冊を図書情報室で開架し、来館者が自由に閲覧できるようにしている。また、収蔵図書資料の目録は、当館ホームページで公開している。

#### エ 保存処理

県内の遺跡から出土した脆弱な資料について、「埋蔵文化財出土遺物の保存処理」として国庫補助を受け、本年度は、建築部材、井戸枠、曲げ物などの木製品135点、刀子、鉄刀、鉄鎌や銭貨などの金属製品77点などの保存処理を行った。

#### オ 保存環境管理・調査

資料の保存状況及び収蔵庫・展示室の保存環境に関する調査を行い、資料の保全に努めた。また、収蔵庫内の木質から発生する酸・アルカリなどの成分が資料に与える影響について継続的に調査している。このほか、歴史資料の虫やカビの被害対策として実態を調査し、個別燻蒸消毒を行った。

また、県内外の諸機関から文化財の保存環境についての問い合わせに対応した。

### (5) 震災対応活動

#### ア 被災文化財の救援活動

当館は、昨年度から継続して石巻文化センターの毛利コレクションや文書資料、民俗資料などを中心に数万点を一時保管している。また、「宮城県被災文化財等保全連絡会議」の運営、被災資料の救出、県内一時保管施設の環境調査、被災館にかわっての資料修理、修理支援、被災地支援のための展示や体験教室など様々な活動を実施した。

①県内被災文化財等に対する復興支援活動(南三陸町ひころの里展示室など)

②一時保管

今年度新たに、石巻文化センター考古資料100箱、石巻市教育委員会稲井収蔵庫考古資料40箱、気仙沼市 当世具足(個人所蔵)1領、南三陸町ひころの里展示室掛軸10幅、書状1通、地図1舗を受け入れた。

③環境調査

地震、津波による被害を受けた県内の収蔵施設について、現地で収蔵環境等の調査を行った(南三陸町入谷郷土伝承館、岩沼市下野郷学習館、石巻市旧石巻市立湊第二小学校など)。

④被災館に代わっての資料修理

石巻市所蔵の掛軸等40点、女川町所蔵の吉田初三郎制作の女川港鳥瞰図1点について、被災館に代わって修理を実施した。

⑤被災地支援活動(体験教室)

南三陸町において、かつて砂金の産地であった郷土の歴史の理解を深め、地域の誇りを再認識してもらう事を意図し、小学生向けの砂金取り体験を実施した。

### ⑥活動紹介展示

復興支援活動への館の取り組みとともに、県内被災文化財の現状に対する理解を深めてもらう事を目的として以下のとおり、パネル展『被災文化財復興への足音—文化財レスキュー活動の報告Ⅰ・Ⅱ—』を開催した。

### イ 宮城県被災文化財等保全連絡会議の運営・活動

宮城県被災文化財等保全連絡会議（以下 連絡会議）は、行政や組織の枠組みを超え、文化財レスキュー事業に関係する機関が連携、協働し、被災文化財等の保全管理等を目的として平成23年度10月21日に組織された。連絡会議で当館は代表幹事兼事務局を務めており、調整役として、他館との連携を図りながら、資料救出、応急処置、修理支援、環境調査、情報公開（巡回展）等の諸活動にあたった。

#### ①全体会議・幹事会

情報交換と被災資料に関する各種案件を協議するため、3回の全体会議と5回の幹事会を開催した。

#### ②修理支援

被災資料等の修理に際し、専門的知識を必要とする案件については、幹事館を中心に各分野の担当館で修理仕様等の検討及び回答を行った。当館は歴史・民俗・考古・保存科学分野を担当し、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館考古資料、多賀城市埋蔵文化財センター歴史資料等、白石市教育委員会考古資料等、石巻市石巻文化センター阿部家歴史資料等、亘理町立郷土資料館歴史資料等の案件に対応した。

#### ③ 応急処置

岩沼市水損文書資料等、東松島市薬師堂仏像・神像等の脱落部材接着等、石巻市長谷寺仏像の脱落部材接着等、石巻市雄勝硯伝統産業会館資料の現地調査、リスト・調書作成、脱酸素封入作業等の応急処置を実施した。

#### ④ 巡回展示

連絡会議の取り組みや、被災した地域の文化財に対し、全国からの多くの支援が寄せられていることを被災地の方々にも知ってもらう事を目的として、パネル、映像、実物資料による巡回展『救え！故郷の証—つながれ！MIYAGI—』を県内5箇所で開催した。

### ウ 宮城県復興支援調査への協力宮城県教育委員会文化財保護課が行う東日本大震災に伴う復興支援調査に対して一年間を通し2人の職員が協力にあたった。

(市町村協力)登米市沼崎山遺跡、(復興道路常磐道)山元町涌沢

遺跡、上宮前北遺跡、石巻市葦塚貝塚、(復興道路三陸道)多賀城市山王遺跡

### (参考資料) 第8—11表

平成24年度東北歴史博物館入館者数

月区分	開館日数	入館者数(人)
4月	26	9,634
5月	27	16,715
6月	26	18,722
7月	26	10,631
8月	27	12,944
9月	26	12,426
10月	26	16,016
11月	26	10,850
12月	24	4,782
1月	23	5,514
2月	16	5,558
3月	27	5,096
計	300	128,888

## 第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

多賀城跡は奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれ、奈良時代には鎮守府も併置された役所の跡である。規模は約900m四方で、多賀城市市川のほぼ全域と浮島の一部に及ぶ。また、南東約1.2kmの多賀城市高崎には付属寺院の多賀城廃寺跡がある。これらは大正11年に史跡に指定され、さらに昭和41年には特別史跡に昇格指定された。昭和30年代後半からの急激な諸開発の波は多賀城跡の周辺にも及び、平城宮跡や大宰府跡と並んで国の三大史跡とされる重要な文化遺産である多賀城跡も破壊されてしまう恐れが生じてきた。そこで、宮城県教育委員会は昭和44年4月に宮城県多賀城跡調査研究所を設置し、多賀城跡の解明と保存を目的とする発掘調査、およびその成果に基づく環境整備を計画的に実施することにした。

### 1 事業内容と目的

当研究所の事業内容と目的は以下のとおりである。

#### (1) 多賀城跡発掘調査事業

特別史跡多賀城跡附寺跡の発掘調査を実施し、古代の多賀城の実態を解明し、あわせて環境整備のための資料を得る。

#### (2) 多賀城跡環境整備事業

発掘調査の成果をもとに多賀城跡附寺跡の遺構について、保存措置を講じるとともに、復元表示などの環境整備を行い、歴史公園として一般に公開する。

#### (3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

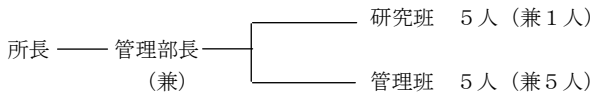
古代の多賀城に関連する県内の遺跡の発掘調査を実施して、多賀城を中心に展開された東北の古代史を多角的に解明する。

#### (4) 遺構調査研究事業

古代城柵官衙遺跡の資料を全国規模で収集し調査研究する。

## 2 組織・予算

### (1) 組織



なお、当研究所では第8～12表の学識経験者からなる多賀城跡調査研究委員会を組織し、その指導・助言を得ながら各事業の推進を図っている。

第8～12表 多賀城跡調査研究委員会委員名簿

氏名	職	専門分野
委員長 須藤 隆	東北大学名誉教授	考古学
副委員長 平川 南	国立歴史民俗博物館長	古代史学
委員 飯淵 康一	宮城学院女子大学教授	建築史学
〃 鈴木 三男	東北大学大学院教授	植物学
〃 佐藤 信	東京大学大学院教授	古代史学
〃 松村 恵司	独立行政法人奈良文化財研究所長	考古学
〃 近江 隆	東北大学名誉教授	都市工学
〃 進士五十八	東京農業大学名誉教授	造園学

### (2) 予算

ア 多賀城跡発掘調査事業費	11,294千円
イ 多賀城跡環境整備事業費	7,956千円
ウ 多賀城関連遺跡発掘調査事業費	0千円
(以上、50%国庫補助事業)	
エ 多賀城跡環境整備災害復旧事業	15,939千円
(70%国庫補助事業)	
オ 遺構調査研究費	114千円
カ 収蔵庫整理事業	1,257千円
キ 木簡及び墨書土器集成事業	898千円
ク 発掘資料デジタル化事業	898千円
ケ 出土遺物修復事業	2,695千円
コ 管理費	301千円

## 3 平成24年度事業の概要

### (1) 多賀城跡発掘調査事業

平成24年度は多賀城跡発掘調査第9次5カ年計画の4年次目にあたり、五万崎地区で第84次調査を行うと同時に、併行して東日本大震災の復旧事業による政庁正殿跡の再舗装工事に伴う調査を第85次調査として実施した。発掘調査面積は合計860㎡、調査期間は平成24年5月8日～平成24年11月22日である。

#### ア 第84次調査の目的と成果

五万崎地区の東部で第1期の外郭南辺とみられる区画施設を検出し、あわせて同地区の遺構の様相を把握する目的で調査を実施した。区画施設の本体は確認できなかったが、施設の構築に伴うとみられる土取り穴を検出し、近くに区画施設が存在することが推定できた。また、第Ⅲ期以降の掘立柱建物跡と堀跡、住居跡や工房跡とみられる堅穴遺構を多数検出し、今まで未調査だった五万崎地区東部の遺構の状況がはじめて捉えられた。

#### イ 第85次調査の目的と成果

政庁正殿跡の遺構の被災状況と詳細を確認・記録する目的で調査を実施した。旧舗装と碎石の除去後に遺構を検出したところ大きな被害はなく、正殿跡は良好に残存するのが確認できた。また、正殿跡の上面全体を調査した結果、規模や構造、変遷などの詳細が従来以上に明確になった。特に礎石式の正殿は二時期あり、宝亀11年(780)の伊治公告麻呂の乱の際に焼失して建て替えられたことが判明したのは大きな成果である。

### (2) 多賀城跡環境整備事業

平成24年度は第9次5カ年計画の3年次目にあたり、政庁地区再整備の一環として、後殿の平面表示に関わる復元基壇・礎石の設置工事を行った。

### (3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

東日本大震災による復旧事業を優先するため、当面は事業を休止している。

### (4) 多賀城跡環境整備災害復旧事業

東日本大震災により被災した施設について以下のア～オの修復工事を実施した。また、多賀城跡内の測量用基準点の再測量を行った。

#### ア 政庁正殿跡の再舗装工事

#### イ 外郭南門地区公衆便所の浄化槽・屋根瓦・敷石修復工事

#### ウ 外郭東門地区公衆便所の浄化槽、四阿柱台座修復工事

#### エ 作貫地区展示覆屋・四阿柱台座の修復工事

#### オ 柏木遺跡の園路舗装・排水施設・擁壁修復工事

### (5) 遺構調査研究事業

岡山県総社市鬼ノ城跡、群馬県高崎市上野国分寺跡、宮城県栗原市伊治城跡、大崎市権現山遺跡の調査データを収集し、比較検討した。

### (6) 収蔵庫整理事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び関連遺跡の発掘により出土した出土遺物量は、整理箱で総数20,000箱を超えている。緊急雇用創出事業の一環で、これらを収納している浮島収蔵庫内の整理作業を行った。

### (7) 木簡及び墨書土器集成事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び関連遺跡の発掘による出土遺物の集成作業の一環として、緊急雇用創出事業を利用して木簡及び墨書土器集成作業を行った。

### (8) 発掘資料デジタル化事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び関連遺跡の発掘調査で作成した図面類を、緊急雇用創出事業を利用してデジタル化する作業を行った。

### (9) 出土遺物修復事業

東日本大震災で被災した収蔵庫内の出土遺物について緊急雇用創出事業を利用して修復作業を実施した。

### (10) 特別史跡多賀城跡附寺跡の現状変更申請への対応

当研究所では、特別史跡内の遺構と歴史的景観の保護に努めている。然し、やむなく特別史跡内の現状を変更するにあたっては、申請者及び関係機関と遺跡保護のために慎重な協議を行い、遺跡への影響がない範囲で最小限の現状変更に伴う調査を行っている。

平成24年度の現状変更申請は、防災無線設置工事とあやめ園ベンチ設置工事の2件があった。これらについては災害対応の必要性、高齢者等の来跡者への配慮の必要性からやむをえないものであり、史跡への影響も軽微と判断されたことから工事立ち合いにより対応した。

### (11) その他

#### ア 震災復旧事業に伴う発掘調査の支援

県内各地域の早期復興を目指して災害復旧事業に伴う発掘調査の支援に職員1名を常時派遣した。

#### イ 現地説明会の開催

発掘調査の成果を一般の方々に公開するために、下記の現地説明会及び現地公開を開催した。

多賀城跡第 85 次調査現地説明会 平成 24 年 10 月 6 日

多賀城跡第 85 次調査現地公開 平成 24 年 10 月 9～11 日

吉野 武・廣谷和也・高橋 透

ウ 各委員会などへの協力

佐藤則之 多賀城市文化財保護委員会委員  
史跡伊治城跡調査整備指導委員会委員  
亙理町三十三間堂官衙遺跡調査検討委員会委員  
角田市角田郡山遺跡発掘調査指導委員会委員  
第 39 回古代城柵官衙遺跡検討会代表世話人  
秋田県弘田柵跡保存管理計画策定指導委員  
秋田市秋田城跡環境整備指導委員会委員  
盛岡市志波城跡史跡整備委員会委員

エ 講演会・研究会などへの協力

佐藤則之「多賀城跡の概要」

平成 24 年度宮城県初任者研修

東北歴史博物館 平成 24 年 8 月 22 日

佐藤則之「多賀城跡 近年の新たな成果」

多賀城市史跡案内サークル・宮城街道交流会史跡  
のまち再生事業「多賀城碑のなぞを探る！」

東北歴史博物館 平成 24 年 12 月 1 日

吉野 武「多賀城跡政庁正殿の調査」

第 38 回宮城県文化財保護地区指導員・市町村文化  
財担当者研修

東北歴史博物館 平成 24 年 10 月 24 日

吉野 武「近年の多賀城跡の調査」

基幹研究「古代地域社会の実像」第 3 回研究会  
国立歴史民俗博物館 平成 24 年 12 月 23 日

三好秀樹「多賀城跡と貞観十一年陸奥国大地震」

第 39 回古代城柵官衙遺跡検討会特集報告

東北歴史博物館 平成 25 年 2 月 24 日

廣谷和也「多賀城跡第 85 次調査（正殿跡）の概要」

平成 24 年度宮城県遺跡調査成果発表会

東北歴史博物館 平成 24 年 12 月 9 日

廣谷和也「東北地方の重圏文軒丸瓦」

第 13 回古代瓦研究会シンポジウム

奈良文化財研究所 平成 25 年 2 月 3 日

廣谷和也「多賀城跡第 84 次調査の概要」

第 39 回古代城柵官衙遺跡検討会資料報告

東北歴史博物館 平成 25 年 2 月 23 日

廣谷和也「多賀城跡第 85 次調査（正殿跡）の概要」

第 39 回古代城柵官衙遺跡検討会成果報告

東北歴史博物館 平成 25 年 2 月 23 日

高橋 透「東北地方における古代の塩の生産と流通」

第 16 回古代官衙・集落研究会

奈良文化財研究所 平成 24 年 12 月 7 日

オ 連携大学院

佐藤則之（客員教授）

文化財科学研究演習Ⅰ「多賀城跡の研究の現状と整備」

佐藤則之（客員教授）・吉野 武（客員准教授）

文化財科学研究実習Ⅰ「古代遺跡調査の方法と実践」

カ 研究成果刊行物

『宮城県多賀城跡調査研究所年報 2012 多賀城跡』

平成 25 年 3 月

『宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ 多賀城跡木簡Ⅱ』

平成 25 年 3 月